

hpf! news

（ヒトとブンカを
つなぐ 情報誌）

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

Vol.

28

2018 Spring

特集1

いま
20世紀最高の巨匠が語る現在
マイスキー・トリオへの想い

チェリスト

ミッシャ・マイスキー インタビュー

特集2

クララ・ハスキル国際ピアノコンクール優勝
多くの師に学ぶこと、そして私のこれから

ピアニスト

藤田真央 インタビュー



公益財団法人

浜松市文化振興財団

Hamamatsu Cultural Foundation

VOL.28 | 2018 Spring

contents

- 04  [特集1]
チェリスト ミッシェル・マイスキー
インタビュー
- 08  [特集2]
ピアニスト 藤田真央
インタビュー
- 12  [ちょっと気楽に、もっと音楽を]
トウルネラパージュ
- 16  [のんびり、ゆっくり、みゅーじあむ vol.17]
楽器と美術、音楽と美術
- 18  オークラクトシティホテル浜松
ホテルクラウンパレス浜松
- 20  [コンサートにお出掛け、その前に…]
ヤマハミュージックリテイリング浜松店
- 22  [楽器職人のいる街 vol.9]
チェンバロ職人 佐藤 亮さん
- 24  [こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ。]
八千代
メキシカン酒場 ムーチョ アミーゴ
- 26  HCF Event Schedule
- 31  [お知らせ]
こんにちは！浜松科学館です。

はじまりはいつも、 ヒトツの感動から。

2020年の東京オリンピックまで、残り1000日を切った。

イギリスでは、2012年のロンドンオリンピックを契機に「アーツカウンシル」が機能し、多くの文化プログラムがロンドンのみならずイギリス国内各地で開催された。

同様に、日本にも全国にアーツカウンシルが設立されつつある。東京オリンピックに向けてどのような文化プログラムを実施していくのか、日本の文化力が試されている。

浜松市はブラジルパラリンピック全選手団の事前合宿を受け入れる。総勢300人にもおよぶ大所帯だ。共生ホストタウンとして国にも登録されている。

文化プログラムの実施と共生社会への取り組み、このふたつが重なり輝いた時、新しい文化が生まれる道が見えてくるだろう。そして、これこそが浜松にとって大切な「レガシー」となるに違いない。

私たち浜松市文化振興財団は、未来へつながりゆく文化を皆様と探し求めてまいります。
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



専門学校ネサンス・デザイン・アカデミー
イラストレーション科2年

山内 千紗都(やまうち ちさと)

作品名「咲き乱れよ17の軌跡」

17歳をテーマに制作しました。
春から始まる新生活、色々なことを吸収する
真っ只中の17歳。咲き乱れるような一瞬を、
散り乱れる一瞬を大事にして大人になって
欲しいと思って描きました。

チェリスト

ミッシャ・マイスキー

インタビュー

M I S C H A M A I S K Y

©Hideki Shiozawa

日本に何度も訪れ、多くのファンに愛されている20世紀最高の巨匠チェリスト、ミッシャ・マイスキーさん。今年9月にアクト・プレミアム・シリーズで16年ぶりに浜松に登場します。長い演奏家人生の中で、様々な音楽家と共演、数々の名演を生み出してきたマイスキーさんにお話を伺うことができました。

協力/株式会社AMATI

チェリスト ミッシャ・マイスキー インタビュー



■初来日から30年、印象に残っている都市やお好きな場所がありますか？

驚くことに、日本にはもう50回近く来ていますが、毎回とても楽しみにしています。東京、名古屋、大阪などの大都市はもちろん、地方に足をのぼして日本の伝統的な家並みや日本庭園を見ることも大好きなので一カ所に絞ることは難しいです。ただ京都は何回訪れても素晴らしく、加えてアルゲリッチとライブ録音を行っていますので、特別な場所であることには間違いありません。好んで訪れたいという点では他の場所も同じですね。

■チェリストになろうと決めたのはいつ頃でしたか？

私は音楽一家の末っ子として生まれました。姉はピアノを、そして兄はヴァイオリンを習っていましたが、私が7歳の時、母は私を音楽家でなく普通に育てようと普通校に入学させました。ところが8歳の時、自ら「チェロを習う」と皆に宣言したのです。なぜチェロなのか？ といえば、たぶん兄弟でファミリー・トリオを結成したかったのだと思います。結局は実現しませんでした。この思いは自分の中で醸成され、遂に子供たちとのトリオとして演奏をお届けできることは万感の思いです。

■今回の浜松公演では、リリーさん、サーシャさんとのマイスキー・トリオですね。お子さんたちにはチェロよりピアノやヴァイオリンを薦めたそうですが、実現してみているかがですか？

とてもワクワクしています。私は総じて幸運な人間であり、チェロ奏者としてはロストロポーヴィチ、ピアティゴルスキーという2人の偉大な師との出会いを始めて、大変恵まれていると思います。また、授かった6人の子供全員が音楽に関わり、楽器



©Bernard Rosenberg/DG

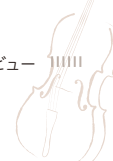
を演奏しているのも本当に幸せなことです。特に長女リリーとは多くの国でコンサートを行ってきました。今回、トリオ演奏という長年の夢が実現することをとても楽しみにしています。実は、将来下の子供の1人がヴィオラ奏者になってくれれば、ピアノ・カルテットができると密かに願っているのですが、目下のところはサッカーに夢中。あの年頃の私がそうだったようにね（笑）。

■今回のプログラムの見どころをおしえてください。

今回のプログラムはとても多彩で、ソロ、デュオ、トリオによりバッハの無伴奏組曲、ショスタコーヴィチのチェロ・ソナタ、そしてチャイコフスキーの「ピアノ三重奏曲」を演奏します。特に「ピアノ三重奏曲」は、20年前に初めて演奏し、またアルゲリッチ、クレメルと共に日本でライブ録音したので大変思い入れがあります。以来、何人ものヴァイオリニストやピアニストと共演してきましたが、今回、日本で遂にリリーとサーシャとのトリオで演奏することになり、とても楽しみにしています。

■今回演奏されるバッハ無伴奏組曲は、100回以上の演奏会と3回の録音をしていますね。時代の流れと共に変化は感じますか？

演奏するたびに深みが増し、絶えず変化もして



います。これは私個人の意見ですが、ドイツ・グラモフォンでの最初のレコーディング(1985年)とそれから15年経った2回目のレコーディング(2000年)を比べると、時は15年も経つの、音は15年若返っているのです！子供たちや美しい妻に恵まれたこと、また音楽を続けてきたからでしょうか、45年前に国を離れて新たな人生をスタートさせたときよりも、今はもっと若々しいと感じています。とにかく2回目のレコーディングからもうすでに演奏方法は変化していて、今後も一層演奏に磨きをかけていきたいと思っています。

■長い演奏家人生の中で特に印象に残っている演奏や共演者があれば教えてください。

本当に大勢います。私は世界で最もラッキーなチェロ奏者で、これまで数多くの音楽家たちとの出会いに恵まれてきました。1969年に偉大なピアニスト、ラドゥ・ルプーと共演し、ベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲&変奏曲の最高の演奏ができたことは最も忘れ難い経験のひとつです。多くの素晴らしい音楽家たちの中で特定するのは難しい



2017.05.04宮崎国際音楽祭より

©K.Miura

のですが、やはりマルタ・アルゲリッチは特別な存在ですね。定期的な共演やレコーディングを繰り返しながら、付き合いも早42年になります。指揮者といえば、レナード・バーンスタインと20回以上のコンサートと3回のレコーディングができました。音楽家であると同時に人間性も素晴らしく、彼との出会いに感謝しています。パブロ・カザルスとは彼が逝去する2ヶ月前の1973年に演奏を聴いてもらう機会がありましたが、97歳になる手前ながらとても若々しい方だったのを覚えています。

■社会の動きに翻弄され、完全に音楽と向き合えない苦しい時期も過ごされました。そのような時期こそ音楽が救いとなる場合もあると思います。現代社会における音楽の役割についてどのように思われますか？

チェロも持てない、ましてや弾けない苛酷な2年間でしたが、音楽がいつも自分と共にあり本当に救われました。音楽は、異なる背景や伝統、文化そして言語を超え、お互いを理解するための「世界言語」であると信じています。違いを恐れずに互いの違いを認識し、共通性を見出し、また違いの中から積極的に何かを学びとるための手助けができるのが音楽だと思います。困ったことに、人は戦争を起こし、人を殺めます。これは、互いの違いを

入れ、自分を高めるのではなく、異なる目的、宗教、イデオロギーが招く結果です。音楽は確実に人々を結びつける役割を果たすことができるのです。

■音楽家以外の人生を考えたことはありますか？また、その職業は何でしょうか？

5歳の頃はパイロットになりたいと思っていたのです。変な理由ですが、当時のソ連では「パイロットはチョコレートをタダで貰える職業」でしたから…無邪気なものです(笑)。私は何でもやってみたいと思う性格ですが、正直なところ、やはり音楽家になることしか考えていなかったと思います。

■これからの夢や目標などについてお話しください。

仕事でも私生活でも、夢や目的は沢山あります。人生で一番の望みといえば、「To live very long, but die young. To stay young in spirit (精神若くして命永らえる)」つまり柔軟かつ寛容な精神を保ちながら若々しく長生きしたいということです。

■最後に、16年ぶりとなる浜松のファンの方にメッセージをお願いします。

浜松で、私の子供たちとの演奏を皆様に聞いていただけることを心から楽しみにしております。今回は50回目の来日であり、私にとって特別な記

念すべきツアーです。今回の選り抜きのプログラムを心ゆくまでお楽しみください。どうもありがとう。

このインタビューは公式HP「はまかる NEO」でもご覧いただけます



©Bernard Rosenberg/DG

ACTTJ's Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2018 ~世界の名演奏家たち~Vol.8

ミッシャ・マイスキー〈チェロ〉

2018年9月7日(金) 19:00開演
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席指定: S席8,500円 A席7,000円 B席5,500円 学生B席2,500円(24歳以下)
●チケット一般発売 2018.5.13(日)
●アクトシティ友の会先行発売 2018.5.6(日) 11:00~

※未就学児の入場はご遠慮ください。
●出演: ミッシャ・マイスキー(Vc)、リリー・マイスキー(Pf)
サーシャ・マイスキー(Vn)

●曲目:
J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007
ショスタコヴィチ/チェロ・ソナタ 二短調 Op.40
チャイコフスキー/ピアノ三重奏曲 イ短調 Op.50
「偉大な芸術家の思い出に」

※出演者・曲目は都合により変更となる場合がございます。
●文化事業課:053-451-1114



2017.05.04宮崎国際音楽祭より

©K.Miura

ミッシャ・マイスキー Misha Maisky

1948年ラトヴィア共和国生まれ。ロシアで学び、のちにイスラエルに移住。以後、ロンドン、パリ、ベルリン、ウィーン、ニューヨーク、東京をはじめ世界の主要コンサートホールで演奏活動を展開、熱狂的な支持を受け続けている。ドイツ・グラモフォンの専属アーティストとして、30を超える録音をリリース。そこでの共演もウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめ多岐に渡る。バッハ・プログラムにおいては実に100以上の演奏会を世界で展開、さらにバッハ無伴奏組曲の3度目のレコーディングという形に結実している。マイスキーの録音は世界各地で高い評価を得るほか、数々の主要国際音楽祭の常連でもあり、世界のトップ・アーティストらと共演を重ねている。



©Bernard Rosenberg/DG



ピアニスト

藤田真央

インタビュー

MAO FUJITA

2017年12月27日 浜松市楽器博物館にて 文・撮影／（公財）浜松市文化振興財団

5月27日、「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」に登場するのは若干19歳で昨年の第27回クラ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝し、そのテクニックと力強い演奏で多くのファンを虜にする若きピアニスト藤田真央さんです。あどけない笑顔が魅力の藤田さんに、演奏活動への思いと現役大学生の素顔に迫りました。

■最初に、ピアノとの出会いについて教えてください。

2歳上の兄がピアノをやっていたので、その流れに乗って習い始めました。中学くらいまでは一緒にでしたが、その後は私だけが続けていく形になりました。

■一昨年、浜松国際ピアノアカデミーに参加された感想をお聞かせください。

中村絃子先生のいらっしゃる最後のアカデミーに参加しましたが、非常に和やかな雰囲気、素晴らしい先生方が多くいらっしゃいました。特に絃子先生のレッスン前はとても緊張して、ずっと胃が



浜松国際ピアノアカデミーで
中村絃子先生と

痛かった思い出があります。雲の上の存在でしたので、何かすごいことになっちゃったなあと思いつつ。結局、とても優しく時折お叱りを受けながらも足りない所を指摘していただきました。

■昨年、スイスで行われたクラ・ハスキル国際ピアノコンクールに優勝、一躍世界に注目されました。その後、変化していることはありますか？

個人的には今までどおり、曲を探索して一音一音創り上げていくことに変わりはありません。ただ、コンサートに出る機会がとて多くなったので、また来たいと思っていただけるような演奏をしなければ、と強く感じるようになりました。優勝後は、友人たちも「おめでとう！」と言ってくれましたが、人というのはすぐに忘れますから、もう何とも思っていないと思います（笑）。急にモテたり？…それはいいです。

■東京音楽大学では、特別特待奨学生としてどんなレッスンをしているのですか？

ピアノ演奏演奏家コースエクセレンスというところに在籍していて、レッスンの先生が3人いたり、レッスン時間が1時間半だったり。他の大学より長い時間レッスンしていただけるので非常に良い環境だと思います。それ以外は他の学生と同じで、必修科目はありますし、公欠がきくわけでもないのが単位を取るの大変です。ヴァイオリニストの辻彩奈さんが大学の先輩でよく話しますが、同じ感覚を分かち合っています（笑）。

■今までに多くの著名ピアニストのマスタークラスを受講されていますね。いろんな先生のご意見を聞くことで、迷ったり解釈に困惑することはないのですか？

特に困ったことはないですね。まず、その先生方の解釈を全て受け入れた後、自分でチョイスしていくのが私の仕事だと思っています。その人はその人の素晴らしい解釈を持っていますし、最終的には先生が教えて下さる解釈を自分なりに選び取って、より自然に自分のものにするということですが、それが一番難しいですね。

■将来、海外で学んでみたいという気持ちはありますか？

それは、常々思います。ただ、素晴らしい先生はたくさんいらっしゃいますが、色々なことを加味して考えなければいけないので、まだ少し先かなと思います。





■趣味もピアノというのは本当ですか？

今はピアノしかすることがないので。コンサート翌日も1日休もうと思うんですが、午前中休んだだけで何か気持ち悪くて、すぐにピアノを弾きたいという気になっちゃいます。他に好きなものと言えば…プロ野球ですかね。DeNAベイスターズがずっと好きで、夏はプロ野球も見ます。実は父と祖父は巨人ファンで、それに反発したんですよ。万年最下位だったのが最近強くなったのが嬉しくて。いつも僅差で負けるんですが、たまにドラマチックな展開をする時があって…それを見ると、すごく心惹かれます。昨年の日本シリーズ第6戦を、横浜でチャイコフスキーのコンチェルトを弾いたコンサート翌日に福岡まで見に行きました。結局、盛大なサヨナラ負けをしましたが、見られて良かったです。

■尊敬するピアニスト、またピアニスト以外で好きなアーティストは？

今好きなのは、グリゴリー・ソコロフというロシアのピアニスト。生で聴きたくても、飛行機が嫌いという理由で絶対日本には来ない方です。昨年8月、ちょうどミュンヘンに演奏しに行ったとき、彼がザルツブルク音楽祭で弾くということに気付いたんです。「行けるかも」と思ったら、実は私が弾くのと同じ日

でした！非常に悔しかったですね。しかもベートーヴェンのソナタ32番という同じ曲を同じ時間から一緒に演奏し始めました。後でネットを見たら、ソコロフは40分くらいかけて弾いたのに僕は25分で弾いちゃった(笑)。繰り返しもちろん弾いているのに、です。あとは、音楽に関係ないんですが、チェ・ゲバラというキューバ革命に成功した革命家を尊敬しています。彼の人生全てに感銘を受けましたね。キューバは言ってみてみたい国の1つです！

■今年はいよいよ成人ですね。20歳になったらしてみたいことはありますか？

うーん、何だろう。お酒はたぶん弱いと思います。父と兄はすごく飲むんですけど、母は飲めないの。19歳と20歳の境目というのは非常に大きいと思います。人間的にもピアノの技術的にも成熟した演奏をしなければと考えています。今年はコンサートでコンチェルトを弾く機会がたくさんあるので楽しみです。

■5月の「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」の聴きどころについて教えてください。

サン＝サーンスはフランス近代作曲家ですが、その時代に書かれたバロック舞曲の「ガヴオットハ



短調 Op.23」は近代の和声でありながら形式はバロックなので面白いです。小曲ですけど楽しみですね。あとはドビュッシー

没後100年ということで、普段あまり取り上げない曲を2曲入れました。そのほか、ショパンのソナタ3番は1月に録音するCDにも入れる作品です。3番はいつ弾いても難しいですが、成熟した演奏にしたいと思います。

■これからどんなピアニストになっていきたいですか？

やはり、「また聴きたい」と思ってもらえるピアニストになりたいです。「音色が良かった」とか「テクニクが素晴らしい」とか、「和声的なものを感じられた」とか、何でも良いのですが、どんな形であれ、また聴きにきていただけるピアニストを目指したいですね。お客様に良い演奏を届けられるようにすることが第一だと思っています。

■今後の夢や目標などがあれば教えてください。

どうなるかはわかりませんが、結婚したいという願望はあります。30歳前くらいですかね(笑)。大学である先生にお聞きしたのですが、ピアノって結局ソロコンサートが多いので、家に帰ってまで1人だと精神的に辛いものがあるから早く結婚した方がいい、とアドバイスをいただきまして(笑)。家に帰ると人がいる安心感っていうのはいいよと言われましたね。ピアノに関していえば、チャイコフスキー、ショパン、エリザベートなど、何かしらの

大きなコンクールはいつか受けなければいけないと思っています。個人的には、師事している野島稔生が2位を獲られているヴァン・クライバーンを受けてみたいですね。

■最後に、浜松のファンの皆さんにメッセージをお願いします。

全身全霊をかけて、一曲一曲を手掛けたいと思います。皆様の元に素晴らしい音楽が届くように力を尽くしますので、それを感じとっていただければ嬉しいです。

このインタビューは公式HP「はまかるNEO」でもご覧いただけます



©Shigeto Imura

藤田真央

1998年東京都生まれ。3歳からピアノを始める。2017年、東京音楽大学1年在学中に、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「モダンイズム賞(新曲賞)」の特別賞を受賞し、一躍世界の注目を浴びる。

幼少のころから国内外での受賞を重ねると同時に、2013年に初めてのリサイタルを開催。以降、国内はもとより、各地でリサイタル、オーケストラとの共演を行なっている。CDはナクソス・ジャパンからリリース。現在、特別特待奨学生として東京音楽大学1年ピアノ演奏家コース・エクセレンスに在学し研鑽を積んでいる。平成29年度公益財団法人青山財団奨学生。

浜名梱包クラシックススペシャル
アクト・ニューアーティスト・シリーズ2018
Series No.113
藤田 真央〈ピアノ〉

2018年5月27日(日) 15:00開演
●アクトシティ浜松 音楽工房ホール
●全席自由：一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
●曲目：
ショパン/アンダンテ・スピアネートと華麗なる大ボロネーズ 変ホ長調 Op.22
ショパン/ピアノ・ソナタ 第3番 短調 Op.58 ほか
●協賛：浜名梱包輸送株式会社
●文化事業課：053-451-1114



楽器博物館では、ホルンやチターに興味津々…



ちよつと気楽に もっと音楽を 07

「音楽をもっと気楽に楽しんでほしい、日々の生活に音楽を」というテーマで、近場で気楽に音楽を楽しめる素敵な場所をご紹介します。



取材日/1月11日 文・撮影/(公財)浜松市文化振興財団

この方々に
伺いました！

オーナーの矢野裕理さん
スタッフの谷藤さん、小野さん
鈴木さん(写真 右から)



1978年 浜松生まれの浜松育ち
1997年 渡米、Art Institute of Seattleを経てVancouver Film School卒業。
卒業制作課題のドキュメンタリー作品でAward of Excellence受賞。
映画制作プロダクション会社Presskitで映画舞台裏のドキュメント制作に関わる
2004年 帰国
2005年 珈琲紅茶専門店「トウルネラパージュ」開店
2008年 焙煎機導入と同時にコーヒー豆の原産地へ足を運ぶ
2010年 生豆の輸入を開始 現在に至る

トウルネラパージュ
Tournez La Page

お店の名前の由来

店名の「トウルネ・ラ・パージュ」は、フランス語の慣用句。直訳では“ページをめくる”という意味ですが、“新しいページをめくる”=“リフレッシュしようよ”という言い回しで会話に用いられます。美味しいコーヒーと心地よい音楽でリフレッシュしてもらいたいという願いを込めて、名づけました。今年で13年目になります。

アメリカでの体験を経て日本へ

19歳で渡米してアメリカの大学卒業後、プレスキットという映画のメイキング(ドキュメンタリー)の制作をしていました。大きなプロダクションで裏方をしながら、自分の作品を撮りたくてアメリカとカナダの映画学校で勉強しました。でも、いざ作品を作ろうと考えた時、自己が確立されていないという壁にぶつかりました。向こうの食べ物や習慣に親しみ、友達もできたけれど、日本人としては半人前。日本舞踊やお花など日本文化を語れるような武器を持っていませんでした。海外で活躍している日本人は、日本人らしさを前面に出して成功している。ジャズや映画が好きなのはダメだ、出直そうと帰国を決意したんです。映画なら日本でも撮れるし、地に足がついたことをやりながら見えてくる世界があるかもしれないと考えた時、人と出会えて色々な話が聞ける喫茶店がいいなと思いました。

珠玉のオーディオシステムと 譲り受けた5,000枚のレコード

喫茶店の準備のために、東京のオーディオショーや輸入元の音響会社へ、実際の音を聴きに出かけました。知人に紹介されて出会ったのが、ドイツAvantgarde社のホーンスピーカー システムTRIO+6 BASSHORNです。初めて見た時、その女性的で滑らかなフォルムに惹かれました。こんなに大きな図体なのに、なんて繊細な音がするんだろうというの



知人から譲り受けたレコード

LPはモダンジャズを中心に。CDは上原ひろみ・J-Squadなど近代のものも。

が最初の印象。目を閉じると目の前にオーケストラがいるかのような臨場感で、普段自分が聞き込んでいたお気に入りのCDを試聴すると、聴いたことのない音が聞こえてきたのです。一目惚れしたこのスピーカーは、お店の目玉にもなると思いました。また同じタイミングで、親しくしていたジャズの師匠から「喫茶店を始めるなら音楽を聴くソース(音源)が欲しいだろう」と、ご自身の貴重なコレクションである5,000枚余りのジャズのレコードを譲っていただきました。『ジャズ』が新たな魅力のひとつに加わり、喫茶店のコンセプトが決まっていきました。

コーヒーと音楽を楽しめる店

お客様は音楽、コーヒー、読書や会話など様々な時間を楽しんで過ごされています。そもそもジャズ



スピーカー

ドイツAvantgarde社のホーンスピーカーシステムTRIO+6 BASSHORN。広大な開口部ホーン面積を持つローミッドレンジと、ミッドレンジ、ツイーターの3ホーンで構成したスピーカーTRIOに、ホーン型アクティブサブウーハー BASSHORN 3ペア(6本)の組み合わせ。世界最大規模の美しいフォルムはオーディオファンにはたまらない。



お店のマーク

珈琲紅茶専門店として看板を掲げたけれど、「焙煎もしていないのに何が専門店だ!」とマスターに怒られ、そこからいろいろと勉強されたのだとか。



コーヒーの生豆

ハワイの契約農家からといたばかり。グアテマラ産、ブラジル産の生豆はそれぞれに別の色、香りがする。



2Fの焙煎室

買付から輸入、税関の手続き、港からの運搬まで全て自分たちで行う。今後は、生豆の輸入・販売も手掛ける予定。



焙煎の様子

焙煎は夫のジュニアさんが担当。炒ったばかりの豆は焼きたてパンのような香ばしい匂い。

はバックミュージックでもあり、自由な雰囲気を楽しめるもの。有名なビル・エバンスのCDにはライブ演奏する店の厨房でお皿を片付ける音なども収録されています。昔のジャズ喫茶は、私語厳禁、タバコの煙だらけ、コーヒーはまずいというイメージですが、ここではこだわりの豆をハンドドリップで淹れたコーヒーをお召し上がりいただけます。また、奥のオーディオエリアは音楽を楽しむ方優先で、お話をを楽しむ方は手前のお席にご案内しています。タバコはお店の入り口に喫煙スペースを設けてあります。

ジャズの文化を語る上でタバコは欠かせず、レコードジャケットにもタバコをふかす写真がとて多いのですが、昨今は禁煙の流れに。『健康を考える習慣』というタイトルでそんなジャケット写真40枚をディスプレイしたこともあります(笑)。

雰囲気のある空間では イベントも

月に1回、キャンドルナイトというイベントをしています。いつもとは違う幻想的な雰囲気も好評いただいています。18時からの店内照明は、中央に並べた大きなろうそくの灯りがメインとなり、お客様は揺れる灯を眺めながら、コーヒーをお供にゆったりと音楽に身を委ねたり、瞑想されたりと思いにくつろいでいらっしゃいます。他にもヤマハのジャズウィーク関連の講演会や、お客様が持参したCDを聴く試聴会などがあります。

今後はスタッフによる焙煎講座や薬膳講座、またブラジルのコミュニティと連携したポルトガル語講座なども継続的にやりたいと考えています。

地球の裏側が見える関係

近年“農家の顔が見える野菜”というのをよく見かけるようになりましたが、当店のコーヒー豆も「トレサビリティ」といって“どのだれが作った豆なのか”を特定することができます。例えばグアテマラという小さな国に、アンティグア地域という山岳地帯の日照状況が異なる数々の農園がありますが、それらの土壌や生育条件の違う豆をまとめて「アンティグア産」として販売するのが普通。でも、私たちは単一農園の豆を取り扱っています。ブラジル、ハワイなどの農家にも足を運んでいます。

現地の農家と少しずつ関係を作っていくうちに彼らの熱い思いやこだわりを知ることができました。また、自分たちが育てた豆が地球の裏側のどんな人たちに飲まれているのかをSNSなどで知ることができるのは面白い、とも言ってもらえました。消費するお客様の顔が見えることが、生産者のモチベーションにつながり、さらに良い豆を作ってくれます。そして、契約農家との信頼関係を築くことで、年々品質が上がっているのが分かります。届いたばかりのコーヒーの生豆はすごくきれいで、一粒一粒に愛情を感じますね。消費するお客様の顔が見える、生産者の顔が見える、という双方に良い関係をこれからも大事にしていきたいです。

いつかドキュメンタリーを

エンターテイメントが好きで映像制作の夢をもった私ですが、コーヒーにこだわって原産地に豆を買



い付けにいくうち、日本では知られていないコーヒー農家の現状を目の当たりにしました。日本は色々な産地の豆を買って色々な味をたしなむ文化ですが、原産国の多くは、基本的に自国以外の豆をわざわざ仕入れたりはいしません。また、日本と違い貧富の格差が未だに存在する地域もあれば、農園のなかに教会や学校があってコミュニティとして自立している地域もあります。コーヒーにまつわる農園の様子を、いつかドキュメンタリーとして映像で伝えられたいなと思っています。

大事なお客様とこれから

開店から13年経ちますが、これからも今あるものを保つ努力を惜みず、地元のお客様に還元できることをしていきたいです。美味しくコーヒーを飲むためのワンアイテムとして素晴らしいスピーカーもありますが、一番のこだわりはコーヒー。地下100mからくみ上げたお水で「農園からカップまで」にこだわっています。髭を生やした頑固なおじさんがいそうな店と言われますが(笑)、女性スタッフがにこやかに迎え入れます。多くの方々に一度足を運んでいただければ、と思っています。



トウルネラパーージュ

〒430-0928
浜松市中区板屋町 628Y3ビル1階
TEL.053-455-7100

【営業時間】
水・木・日:13:00 ~ 19:00
金・土 :13:00 ~ 21:00

【定休日】月・火・不定休あり

【HP】 <http://tournezlapage.jp/>

楽器と美術、音楽と美術

浜松市楽器博物館館長 嶋 和彦

楽器は音を出して音楽を奏するための道具、装置であることには違いありませんが、音を出さなくとも、目で見て楽しめる造形作品でもあります。楽器の色や形、デザイン、装飾などから、その楽器を作って使う人々の生活—自然環境や生活道具や信じる神様、好きな動物や植物、好きな音、また音を出すための知恵や工夫などが伝わってきます。

このような特徴に目を向けてみれば、楽器とは、音楽が好きなお人だけの楽しみの道具、ではありません。造形作品としてそのまま部屋に飾ったり、絵に描いたり、彫刻にしたりして楽しむことができます。楽器をよく観察して絵や彫刻にしてみると、普段は見落としていた楽器の細部がよく分かって、かえって楽器をよく理解できるかもしれません。

そこで、楽器博物館では、楽器が演奏できなくても楽器が楽しめること、音楽が苦手でも楽器が

楽しめること、を目的に、楽器の絵を描く、というワークショップを開催しました。それも、絵の具やクレヨン、クレパス、色鉛筆で描くのではなく、「羊毛とフェルト」で描くのです。題して、親子

ワークショップ「フェルトで楽器の絵を作ろう！」

手芸をしている方はおわかりだと思いますが、羊毛・フェルト細工は、素材の性質からとても温かみがあります。そして、染色した羊毛やフェルトが今はたくさんあって、どれもきれいな色合いです。ビビッドなもの、パステル調のものなど、絵の具やクレヨンなどに負けません。水を使う必要はありませんし、壁や床に付いて周囲を汚す心配もありません。羊毛をフェルト布に針で刺して留めていくのですが、剥がせますから何回でもやり直しができます。針で指を刺さないように注意さえすれば誰でも簡単に作品ができます。作品を額縁に収めれば、素敵な美術品になるのです。

楽器博物館では、今回、静岡県美術館（以下静美）のご協力をいただき、教育普及担当学芸員である安岡真理さん、森谷紗世さんのお2人を講師にお招きして、このワークショップを開催しました。きっかけは、静美が昨年開催したワークショップ「父の日だ！親子でプレゼントをつくろう」で作られた作品を私が見て、「これは楽器にも使える！きっと素敵な作品ができる！」と思ったからです。その作品とは「父子で作った羊毛・フェルトのお父さんの全身像」。実に温かくお父さんそっくりで、親子の愛情がほのぼのと湧き出てくる作品なのです。静美では年間を通じて子どものためのワー



●羊毛ってね～



●館長が楽器のお話と演奏



●どれにしようかな



●よく観察して絵を描く



●羊毛の使い方



●針で刺して羊毛を留める



●こーするといいよ



●親子で楽しく



●完成！記念撮影！素晴らしい作品ができました！！

クショップを開催されていますが、どれも素晴らしい内容で、担当学芸員さんや職員さんの素晴らしい内容をいつも尊敬しています。楽器と美術、音楽と美術をコラボさせたワークショップをいつかしたいなあ、ずっと思っていたのですが、これだ！と思ったわけです。静美をお願いしてみたら快くOKしてくださいまして、館長様はじめスタッフの皆さんには心から感謝しています。

さて、2017年12月16日（土）のワークショップは、親子10組の参加でした。内容はと言いますと、①羊毛のお話を先生から聞く。②所蔵楽器からいくつかを会場に飾り、観察して絵を創る楽器を選ぶ。③下絵を描く。④色付きの羊毛を選んで切ったり揉んだりほぐしたりしながらフェ

ルトに針で刺して留めていく。針刺しは親にしろてもらう。⑤先生のいろんなアドバイスをもらう。⑥みるみるうちに素敵な作品ができていく。⑦最後に一人ずつ全員で記念撮影！

とっても楽しかったと好評でしたので、また開催したいなと思います。

浜松市楽器博物館

開館時間 9:30-17:00

休館日 毎月第2・4水曜日（祝日の場合は翌日、8月は無休）
12/29-1/3、施設点検等の日

観覧料 大人800円 高校生400円
中学生以下・70歳以上・障害者無料

TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>





Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクティシティホテル浜松

Okura Act City Hotel Hamamatsu



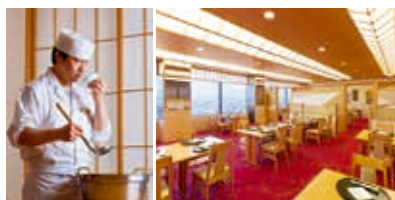
ホテルクラウンパレス浜松

Hotel Crown Palais Hamamatsu



和食堂 山里「山里彩御膳」2,500円(税金・サービス料含む) ※写真は3月の内容です。

オークラアクティシティホテル浜松31階「和食堂 山里」のランチタイムに、新しく「山里彩御膳」が登場しました。9つに区切られた松花堂箱に彩り豊かに並んだ9種のお料理と、煮物・蒸し物などの2種のお料理、御飯と汁物がセットになったお得な御膳です。3月は、新じゃがや菜の花、スナップエンドウなど春ならではの食材を使ったお料理の数々が並びます。月毎に内容が替わるこの御膳は、季節の食材の彩りや繊細な盛り付けから、まさに「山里の宝石箱」といえます。「何から食べようかしら？」とおしゃべりを弾ませながら、女性同士はもちろん、親子やご友人の皆様とお楽しみいただければいかがでしょうか。



藤井料理長

31階からの景観とともに…

和食堂「山里」

浜松市中区板屋町111-2 オークラアクティシティホテル浜松31階
【営業時間】ランチタイム11:30～14:00(土・日・祝11:30～14:30)
【ご予約・お問い合わせ】レストラン予約受付(9:00～20:00)
TEL.053-458-1233



中国料理 鳳凰 鳳凰菜譜ディナー お1人様7,560円(税込)2名様より ※写真はイメージです。

ホテルクラウンパレス浜松の14階中国料理鳳凰では、遠州の食材と季節感を重視した身体に優しく美味しい料理を提供しております。鳳凰は野菜の色味を活かした綺麗な盛り付け、食欲がそそられる香辛料の香り、歯ざわりの違う多数の食材を一皿に合わせた、五感で楽しめる料理が特徴です。味が濃くて脂っこいイメージの中華では無く、素材の味を最大限に生かした、身体が喜ぶ料理。ホテル最上階の景色と、菜譜の知識を活かしたこだわりの味をご堪能ください。毎週水曜日は水曜特割で楊貴妃ランチ・菜膳ランチが15%OFF(但し、祝日を除きます。)



中国料理 鳳凰 料理長
厚生労働大臣表彰
「現代の名工」受賞
岡部 悟

中国料理 鳳凰

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松14階
TEL.053-454-0632
【営業時間】ランチ/11:30～14:30(ラストオーダー14:00)
ディナー/17:30～21:30(ラストオーダー20:30)

〔チェロ〕

「チェロ」という楽器についてみなさんはどんなイメージをお持ちでしょうか？『ヴァイオリンを大きくしたような』『低い音の弦楽器』など、色々な想像をされるとと思います。

オーケストラで使われる主な弦楽器はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスですが、その中でもチェロは2番目に低い音域を持っています。ヴァイオリンと比べると形や大きさ・音色が思い浮かばない方が少なくないかもしれませんが、オーケストラやアンサンブルはもとより、独奏楽器としても演奏され、近年はクラシックだけでなく様々なジャンルで演奏されています。

チェロの一番の魅力と言えばなんといってもその音色でしょう。人の声に一番近いと言われており、チェロ奏者の巨匠・故パブロ・カザルス氏にして「チェロはまるで齢を重ねず時とともに若やいでいく美女、どこまでもたおやかに、繊細に、そうして優雅に。」と言わしめています。

チェロの正式名称はvioloncello（ヴィオロンチェロ）、その始まりは16世紀、日本の室町時代後期から安土桃山時代に当たる頃まで遡り、現存する最古のチェロは1560～1570年頃に作られたと言われていいます。当時のチェロは弦の数も異なり、サイズも現在よりかなり大型（約80cm以上）で、アンサンブルの中の通奏低音を受け持つ伴奏楽器として、室内楽やオーケストラで重要な役割を担っていました。そして17世紀の終わりには無伴奏の独奏楽器としても用いられるようになり、もっとも有名な作品としてはJ.S.バッハの「6つの無伴奏チェロ組曲」が挙げられます。

その後1707年から1717年にかけて、弦楽器製作家

アントニオ・ストラディヴァリがそれまでの大型のチェロの製作を中止し、中程度の大きさである75～76cmの楽器を作り始め、これが現代のチェロの基準となりました。

それ以降もチェロは、弓の形状・弦の材質・高音域が弾けるような指板の長さなど、時代に合わせた様々な変化をしてきました。その中でも最大の変化は、床に刺して楽器を支える「エンドピン」がボディ下部についたこと。チェロは楽器を立てて体の前に構えて演奏をするため、かつては膝でボディを挟んで支えていました。現代ではエンドピンがついたことにより楽器を支えることが楽になっただけでなく、楽器の響きをホールの床に伝えて共鳴させる効果も生まれました。

近年チェロ人口は増加し、昨年はエリザベート王妃国際コンクールにチェロ部門が創設され話題になりました。多くの人気チェリストが活躍するようになり、中でも今年の9月7日にアクトシティ浜松で公演を行うミッシェル・マイスキー氏は世界を代表する巨匠チェリストの一人です。彼は1975年以来アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、アジア（特に日本）等、世界各地で公演を行ってきました。1986年以来20数回にわたって来日し、日本の聴衆に最も身近な外国人チェリストになっています。16年ぶりの浜松での公演となる今回はリリー・マイスキー氏のピアノ、サーシャ・マイスキー氏のヴァイオリンを加えたプログラムと共に、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲第1番などを演奏する予定です。音楽と共に楽器の歴史にも想いをはせ、より深くチェロの世界を味わってみてはいかがでしょうか？

参考文献：弦楽器専門誌「サラサーテ」/せきれい社
楽器の歴史（佐伯茂樹）/河出書房新社
世界の楽器百科図鑑（マックス・ウェイド＝マッシュス）/東洋書林
楽器の事典ヴァイオリン/ハンナ（シヨパン）

〔3F 鍵盤・弦楽器売場〕 山本 詩織

ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時 〔定休日〕水曜日
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
〔2F 楽譜・CD売場〕 TEL.053-454-4419
〔3F 鍵盤・弦楽器売場〕 TEL.053-454-2770



店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



バーンスタインへの
トリビュート

佐渡裕/
トーンキョウストラー管弦楽団
AVCL-25949 ¥2,160 (税込)



バーンスタイン・オン・プラス

佐渡裕/
シエナ・ウィンド・オーケストラ
AVCL-84040 ¥2,160 (税込)

2018年、最も熱いクラシックコンサートがアクトシティ浜松大ホールで5月に開催されます。佐渡裕さん指揮、トーンキョウストラー管弦楽団のコンビで、バーンスタインの曲が演奏されるのです。

バーンスタインはアメリカ人音楽家で、作曲家でありピアニスト、そしてカラヤンと並ぶ指揮者で、20世紀後半のクラシック界をリードしてきたスターです。作曲家としては、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」の音楽を作った人物。佐渡裕さんにとってバーンスタインは指揮者としての恩師であり、バーンスタインにとって佐渡裕さんは最後の愛弟子なのです。

トーンキョウストラー管弦楽団は主にウィーンを活動拠点にしているオーケストラです。110年の歴史があり、ウィーンの音楽文化の中で最も重要な役割を果たしています。2015年から音楽監督・首席指揮者に佐渡裕さんを迎えています。

佐渡裕さんは、日本で一番エネルギーに満ちた指揮者です。大学在学中から指揮活動を開始、学生プラスバンドやアマチュアオーケストラの指揮を経て、1987年タンゲルウッド音楽祭に参加。この音楽祭をきっかけにバーンスタインと小澤征爾に師事し、1989年プザンソン指揮者コンクールで優勝し、プロデビュー。その後は多くのヨーロッパの一流オーケストラや吹奏楽団を指揮してきました。現在、国内では兵庫県立芸術文化センターの芸術監督やシエナ・ウィンド・オーケ

ストラの首席指揮者もされています。現在、首席指揮者を務めるのは管弦楽団と吹奏楽団ですが、楽器の編成やアレンジに違いがあり、指揮を通して引き出す音も違っています。師匠バーンスタインの曲を管弦楽団とコラボしている最新CD『バーンスタインへのトリビュート』と、同じく吹奏楽団とコラボしている『バーンスタイン・オン・プラス』の2枚は、聞き比べにおすすめのアルバムといえます。

佐渡さんは、指揮者の仕事として指揮をするだけでなく、クラシック音楽のおもしろさを、特に次の世代に伝えたいというお気持ちを持たれており、この思いはバーンスタインからの影響であるそうです。こんな教えを残したバーンスタインの曲を愛弟子が音にする、しかも指揮者はオーケストラの中では音を出さない音楽家で、オーケストラを操るという方法で奏でられるのです。2018年はバーンスタイン誕生100年の記念の年。指揮者、オーケストラ、作曲家、それぞれにとっても強い結びつきのある5月のコンサートが待ち遠しいです。

〔2F 楽譜・CD売場〕 花城 順子

チェンバロ職人

佐藤 亮さん

バロック音楽には欠かせない楽器であるチェンバロ。鍵盤を使って弦をはじき音が出る“撥弦(はつげん)楽器”ならではの軽やかな音色と、華やかな装飾が美しい楽器です。今回お話を伺ったのは、チェンバロの製作をはじめ、数々の音楽団体の結成や文化施設の設立など、長い間浜松市の文化に尽力してこられた佐藤亮さん。楽器製作に臨む真摯な姿勢や、音楽への深い愛情が伝わってきました。



現在製作中のチェンバロ。木工品といった印象。



人に導かれ、浜松へ

クラシック音楽が好きな両親の元で育ちました。母は絵もよく描いていましたね。私も学生時代はオーケストラに所属してフルートを担当しました。音楽教師になろうと思って北海道の大学で学んでいたところ、東京芸術大学に編入する機会が与えられ、東京へ。才能ある若い演奏家との出会いなど、田舎から出てきた少年にとっては刺激だらけの日々でした。就職を考える時期になって、恩師の勧めで日本楽器製造株式会社(現ヤマハ)に入社することに。就職前にヤマハ銀座店で2年働く経験を経て浜松市に移り住みました。

チェンバロ製作の道に

日本楽器製造ではフルートやピッコロ、リコーダーの製作と開発に携わりました。入社して数年後、ドイツ・ハンブルクに赴任しましたがすぐに帰国。その後、製作の現場から離れて営業職に配属されましたが、ひとつの拠点でじっくりと製作に携わりたいと思い、退社を決意しました。その頃、所属してい



響板にある「ロゼッタ(響孔)」には、佐藤さんのイニシャル「AS」が刻まれている。



特殊な加工がされたネジや金具は欧州から取り寄せる。「細かいところまで手が込んでいておしゃれ。そうじゃないと「ロマン」がないでしょう」と佐藤さん。

た音楽団体でチェンバロが必要になり、それならば自分で作ってみようと思い立ちました。海外の文献や資料を集めて製作方法を調べると同時に、楽器の成り立ちや歴史的背景も勉強しました。楽器製作をするなら、図面に書かれている仕組みの理由を知らなければなりません。そうすることで結果的に微調整やメンテナンスに早く対応できるのです。

各地で鳴り響く音色

初めてチェンバロを作ってから、現在まで約70台を送り出してきました。初めは自身の楽団のためでしたが、納入先は古楽に取り組む楽器奏者やピアニスト、さらに音楽愛好家の個人からの依頼もあります。楽器店を通して海外に輸出されたものも。演奏内容や目的、設置する部屋のサイズ、楽器の搬入導線など依頼内容に応じて考慮するため、それぞれのチェンバロのサイズや鍵盤数は変わります。

ある程度の定型はありますが、いわばひとつひとつがオーダーメイドといえますね。私ももう晩年となりましたが、チェンバロ製作と並行して仲間たちと音楽の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



工房の壁に整然と並べられた工具たち。海外の技術者から譲り受けたものも多い。

私の師匠

おおし いわお
大橋 巖さん(ピアノ職人)

親子二代にわたり浜松市内の町工場を手造りのピアノを製作していた「(株)大橋ピアノ研究所」の2代目。チェンバロ製作を始めた頃から交流を深め、楽器製作に対する姿勢を学んだ。



佐藤 亮 さとう あきら

昭和14年生まれ、北海道出身。学生時代から演奏者として管弦楽や合唱に親しむ。大学卒業後、日本楽器製造株式会社(現ヤマハ株式会社)への就職を機に浜松市へ移り住む。フルートやピッコロ、リコーダーの製造に携わり、ドイツ・ハンブルグ支店への赴任も経験。昭和49年の退社以降、独自にチェンバロ製作に取り組み、全国各所に納入している。これまでに浜名リコーダーアンサンブル、浜松室内楽鑑賞会、コンサートホール天竜、フェリーチェ合奏団などの結成に携わり、現在も指揮者、ヴァイオリン奏者として音楽活動を続ける。

浜松市天竜区二俣町鹿島1-141 TEL.053-925-3814
HP <http://www3.tokai.or.jp/satou/>



「カワハギのお刺身(税抜2,500円)」は肝などの部位も食べられるので、お酒の肴にぴったり。



「絶品！牛ハラミのメキシカンステーキ」1,480円(税抜)はオリーブの木でできた器に盛り付け。テキーラやビールとの相性も抜群。トルティーヤ&3種ソースセット300円(税抜)もおすすめ。

八千代

昭和27年から肴町で60年以上続く老舗の日本料理店「八千代」。新しいお店が続々とオープンする肴町界隈ですが、現在は2代目である親方の清さんが大切に守り続けています。店内に入ると10名のカウンター席、4名ずつの座敷席が2つあり、奥には15名まで入ることができる広めの個室があります。

まずはカウンターの頭上にあるメニューが書かれた木版の短冊を見ながら注文。手書きの木版が温かな雰囲気です。定番のメニューのほか、四季折々の旬の素材を使ったメニューは来るたびに入れ替わるので注目したいところ。店内には「八千代」の歴史が伝わる装飾物もあるので、親方にお話を聞いてみては。

料理によく合う日本酒の種類も豊富。親方自ら試飲し、取り寄せることもあります。美味しいお酒といっしょに味わいたいのは旬の素材を活かした料理。8～12月に登場する「ドウマン蟹」は浜名湖で獲られ、身が締まった濃厚な甘みが特徴です。冬場にはカキの土手鍋が人気。カニコロケや海老シューマイは定番の一品なので、思わず注文してしまいそうです。お昼時は手ごろな価格でボリュームがあるランチが食べられます。三ヶ日から仕入れる豚肉を使ったとんかつなど、素材に対するこだわりも欠かしません。

親方の気さくなお人柄にふれ、美味しいお酒と肴をいただく、浜松の老舗でのひとときはいかがでしょうか。



親方の小田木 清さん

昔から釣りが趣味、という小田木さん。今も週3日は浜名湖方面に釣りに出かけ、ご自分の船で出港し大漁を狙います。釣った魚はお店でも食べられるとのこと。休日には奥様とバスツアーに出掛けることもあるそう。3代目の息子さんと共にお店を切り盛りする姿が印象的でした。



八千代
浜松市中区肴町318-18
TEL.053-452-3356
【営業時間】
11:30～13:30
17:00～22:00
【定休日】日曜日

メキシカン酒場 ムーチョ アミーゴ

昨年の3月にオープンしたばかりの「ムーチョ アミーゴ」は、県内でも珍しいメキシコ料理を楽しめるお店です。日本ではあまり知られていないメキシコ料理に焦点をあて、食を通してメキシコ文化に触れてもらいたいと話するのは、店長の櫻井さん。トルティーヤを使ったタコスをはじめメニューは全43種類。メキシコ風のビザ「ケサディーヤ」、グリルした肉料理「ファフィータ」、サボテンを使った料理など、メキシコの食文化はまさに未知の世界。お皿やグラスもカラフルで、メニューを選ぶのが楽しくなりそうです。

他にも、系列店で人気の浜松餃子をアレンジした『メキシカン×浜松』餃子や、プーさんのクリームチーズ、活たコグリル、パッファローチキンウイングなど多種多様。辛みの強いソースは別添えにできるなど、試作を重ねてどの世代の方も食べやすい味付けに工夫されています。

また、メキシコのお酒と言えばテキーラ。実はセレブの飲み物なのだそうです、定番のショットはもちろん、テキーラベースのオリジナルカクテルも種類が豊富で女性に大人気です。店内は、カウンター席やテーブル席の他、最大24名まで収容できる小上がりのロフト席も。壁にかかっているメキシカンな衣装と帽子は、身につけて自由に写真を撮ることができるので、仲間同士でワイワイ盛り上げられること間違いなしです！

陽気なスタッフと一緒に、楽しい時間を過ごしてみませんか。



店長の櫻井さんとスタッフのギーさん

スリランカ出身のギーさんは大学の時から趣味のバンドでドラム・ボーカルを担当、4ヶ国語で歌えます、とのこと。今はお休み中ですが、いつかバンドを再開したいと思っているそうです。店内に流れる世界各国のポップスミュージックをバックに楽しく働いていますと流ちょうな日本語で話してくれました。



メキシカン酒場 MUCHO AMIGO
(ムーチョ アミーゴ)
浜松市中区田町324-13
田町324ビル2F
TEL.053-454-3900
【営業時間】
月～ホ・日曜日、祝日 17:00～翌0:00
(金・土・祝前日は～翌1:00)
【定休日】なし

イベントスケジュール

2018.3 ▶ 2018.7

HCFオンラインショップ

http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・発券手数料0円
 - ★送料などの実費はかかりますが、その他の手数料は一切なし。
 - ★クレジット決済 / 送料315円(全国一律)→4月より450円
 - ★代金引換 / 送料315円(全国一律) + 代引手数料315円(一律)
 - 4月より送料450円 + 代引手数料実費
 - ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
 - ★直接アクトシティチケットセンター窓口にての購入(現金のみ)もできます。
- 詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

特別収蔵展

敬愛の作家・藤枝静男 生誕110年

私小説を越えた『私』の求道者「藤枝静男」その文学と人生

12.17(日)～4.15(日) 9:00～17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
 - 入場無料
 - 浜松文芸館
- TEL.053-453-3933



しばらくさようなら浜松科学館特別企画

手塚治虫生誕90周年記念

「鉄腕アトム ロボットと暮らす未来展」

1.13(土)～3.31(土) 9:30～17:00
(入場は16:30まで)

- 浜松科学館 1階無料エリア
- 入場無料
- 鉄腕アトムの世界を通してロボットと暮らす未来を紹介しします。
- (パネルと複製原画、記念撮影コーナー、映像上映、図書コーナーなど)
- 浜松科学館 TEL.053-454-0178

ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松
スプリングコンサート2018

3.11(日) 14:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:500円
- 第1部:ジュニアクワイア浜松
「群青」「雨ニモマケズ」他
- 第2部:ジュニアオーケストラ浜松
メンデルスゾーン / 組曲「夏の夜の夢」より 他
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



浜松吹奏楽大会2018

3.24(土) 14:00

■第6回全国中学生交流コンサート

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般1,000円
高校生以下入場無料(要整理券)

※未就学児入場不可

ア オ ひ ※高校生以下整理券はアのみ



3.24(土) 10:00～16:30 ※雨天中止

■プロムナードコンサート

- キララ(J R浜松駅北口広場)

3.25(日) 10:00

■第30回全日本高等学校選抜吹奏楽大会

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:2,800円
- ※未就学児入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

アクト・プレミアム・シリーズ2018
～世界の名演奏家たち～Vol.6
マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)

4.16(月) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:
S席9,000円
A席7,500円
B席・学生8席 **売完**

※未就学児の入場不可

- 曲目:
モーツァルト /
ピアノ・ソナタ 第12番 へ長調 K.332
モーツァルト /
ピアノ・ソナタ 第13番 変ロ長調 K.333
シューベルト / 4つの即興曲 D.935 (Op.142)

●文化事業課 TEL.053-451-1114

●特別協賛:オリックスグループ



©Felix Broede and Deutsche Grammophon

アクト・ワンコインコンサート2018
久保田 巧(ヴァイオリン)

4.26(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございます
- ※未就学児の入場不可

※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございます

- 曲目:
W.A.モーツァルト /
ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 KV380
クライスラー / 愛の悲しみ
クライスラー / 愛の喜び ほか

●文化事業課 TEL.053-451-1114



©藤本史昭

企画展

「浜松風祭り今昔物語」～風印と町名の由来～

4.24(火)～7.1(日) 9:00～17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 入場無料
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



ステージ演奏体験Vol.4

4.30(月・祝) 10:00～20:30(1枠45分)

- 天竜壬生ホール
- 参加費:1000円
- 大きな舞台で、スタインウェイを自由に演奏してみませんか?
- 天竜壬生ホール
- TEL.053-922-3301



シネマ歌舞伎

『スーパー歌舞伎II ワンピース』

5.3(木) 14:00

- 浜北文化センター 大ホール
- 全席指定:一般2,100円
3才～高校生1,500円(2才以下入場不可)

※3月11日発売開始

- 瞬く間に口コミが広がりチケット入手困難となった話題沸騰の舞台がついにシネマ歌舞伎として登場! 舞台の迫力を大スクリーンで!
- テレビ静岡事業部 TEL.054-261-7011(平日10時～17時)
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

ア オ ひ

ゆるやかワークショップin天竜Vol.3

お母さんと赤ちゃんのエクササイズ

5.10(木) 10:30～11:30

- 天竜壬生ホール リハーサル室
- 定員:3ヶ月以上1歳未満の赤ちゃんとお母さんペアで20組(要事前申し込み)
- 大人ひとりにつき500円(来館・Tel申込み3/19～)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



ゆるやかコンサート春

5.17(木) 10:30～11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 対象:赤ちゃん、未就学児をお連れの保護者の方。大人のみでも構いません。
- 高校生以上 1人500円
- 子ども無料(同伴の0才～中学生)
- 出演:浅井裕紀子(コントラバス)
小池紘子(ピアノ)
- 浜北文化センター
- TEL.053-586-5151



大和証券グループpresents

佐渡裕 指揮 トーン・キョンストラ管弦楽団
日本ツアー2018

5.23(水) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席18,000円 A席15,000円
B席12,000円 C席9,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
バーンスタイン/交響組曲「波止場」
バーンスタイン/ウェスト・サイド・ストーリーより
「シンフォニック・ダンス」
ショスタコーヴィチ/交響曲 第5番 二短調 Op.47
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 特別協賛:大和証券グループ



©Takashi Iijima



©Werner Kmetitsch

New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.113
藤田真央 ピアノ・リサイタル

5.27(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ショパン/アンダンテ・スピナートと
華麗なる大ボロネーズ 変ホ長調 Op.22
ショパン/ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 Op.58 ほか



©Shigeto Imura

- 文化事業課
TEL.053-451-1114 
- 協賛:  HAMANA

※特集2(P8~11)もご覧ください。

オルガンミニコンサートNo.88

5.29(火) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン:荒井牧子
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

第12回ストラディヴァリウス
サミット・コンサート2018

6.1(金) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
SS席10,800円
S席8,700円 A席6,500円
B席4,300円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
モーツァルト/ディヴェルティメント へ長調 KV.138(125c)
チャイコフスキー/弦楽のためのセレナーデ 八長調 Op.48 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 



レクチャーコンサート

「パワルの響き〜インド西ベンガルの吟遊詩人〜」

6.6(水) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般3,000円
学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 出演:パルパティ・パウル
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128

50c Act・ワンコインコンサート2018
赤坂達三(クラリネット)

6.7(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
※満席となった際は入場をご遠慮いただく場合
がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:ポーター/ピギン・ザ・ピギン
ユーマンス/二人でお茶を
ピアソラ/リベルタンゴ ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Masafumi Hikita

日本リードオルガン協会 第23回浜松大会公開イベント
「足踏みリードオルガンDAY」

6.9(土) 13:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 見学:入場無料
要申込(1部2部各150人 先着順
未就学児同伴可)
- 第1部:13:00~14:15
オルガン解体ショー
リードオルガンを分解して構造を知っていただきます。
- 第2部:15:00~16:30 明治維新150年記念コンサート
「足踏みオルガンの魅力〜児童合唱とともに〜」
リードオルガンの優しい音色でソロ曲や讃美歌、小学唱歌
を楽しんでいただきます。
- 出演:日本リードオルガン協会会員・浜松ライオンネット児童合唱団
- 主催:日本リードオルガン協会 浜松市楽器博物館
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



ワークショップ

「足踏みリードオルガンをひいてみよう」

6.10(日)

[A]10:00~11:45
[B]13:30~15:15

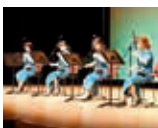
- 研修交流センター3F 音楽セミナー室
- 参加無料:要申込(先着順)
- 講師:日本リードオルガン協会会員
- 対象:小学生~成人 [A][B]各10人
- 足踏みリードオルガンを実際に演奏
して、楽しさと難しさと音色の優しさを
体験します。
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



第2回 みぶアーティストコンサート

6.10(日) 13:30~16:00

- 天竜壬生ホール
- 入場無料
- 公募した子どもから大人までの出演者が、
ステージパフォーマンスを披露
- 天竜壬生ホール
TEL.053-922-3301



妊婦とお母さんのための

ゆるやかコンサート in 天竜 Vol.3

6.15(金) 10:30~11:20

- 天竜壬生ホール
- 大人ひとりにつき500円
- 出演:伊藤香織(マリンバ)
大場朋子(ピアノ)
- 天竜壬生ホール
TEL.053-922-3301



トリニティ・アイリッシュ・ダンス

6.20(水) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席7,500円
A席6,000円
B席4,000円
学生B席2,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 特別協賛:  サラグループ



オルガンミニコンサートNo.89

6.27(水) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン:田上麻里
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

アクト・プレミアム・シリーズ2018
〜世界の名演奏家たち〜Vol.7檜本大進(ヴァイオリン) &
キリル・ゲルシュタイン(ピアノ)

6.28(木) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:
S席7,500円
A席6,000円
B席4,500円
学生B席2,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op.12-2
ブラームス/ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 Op.108
R.シュトラウス/ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 Op.18 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 特別協賛:オリックスグループ



©Marco Borggreve ©Daisuke Akita

第13回はましんファミリーコンサート
「見つけた!わたしの宝物」
〜名旋律散策の旅

7.8(日) 14:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 指定席:1,500円
自由席:一般1,000円
高校生以下 500円
- ※2歳以下入場不可
- 曲目:
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 第1楽章
コルンゴルド/チェロ協奏曲 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114




New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.114
山本英(フルート)×杉本澤(サクソフォン)
×渡邊絢加(トロンボーン)

7.15(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由: 一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)

※未就学児の入場不可

- 曲目:
尾高尚忠/フルート協奏曲(山本)
ドゥメルスマン/ファンタジー(杉本)
アップルモント/トロンボーンのための「カラース」(渡邊) ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛: HAMANA 浜名湖運輸株式会社



山本英 杉本澤 渡邊絢加

第20回記念アジア・太平洋吹奏楽大会 2018(APBDA2018)

日本、オーストラリア、広州(中国)、マレーシア、韓国、シンガポール、台湾、香港、マカオの吹奏楽団が交流コンサートをしています。

7.19(木)

- オープニングコンサート
- アクトシティ浜松 中ホール

7.20(金)

- プロムナードコンサート
- ソラモ ※荒天の場合中止

■サテライトコンサート

- 浜北文化センター・浜松市立高等学校講堂
三ヶ日文化ホール・雄踏文化センター

7.21(土)

- シンポジウム
- アクトシティ浜松 コンgressセンター41会議室

■メインコンサート【1日目】

- アクトシティ浜松 大ホール

7.22(日)

- メインコンサート【2日目】
- アクトシティ浜松 大ホール

- クロージングコンサート
- アクトシティ浜松 大ホール

※開演時間、チケット料金についてはお問い合わせください。

●文化事業課 TEL.053-451-1151



あなたのイベントを応援します!!

サポート事業
(助成金制度)

後援申請

イベントカレンダー
掲載

友の会向け
チケット委託販売

チケット委託販売

▼全ての情報はここから <http://www.hcf.or.jp/>

はまかろ NEO 情報満載!
浜松+文化の今が見える!

アクトシティ浜松友の会
ビバーチェクラブ 会員募集中!!

- ◎電話、インターネットでチケット予約(お席を選ぶことができます)
- ◎一般発売前にチケットの優先販売
- ◎財団の指定公演は、会員お1人様1枚に限りチケット代10%割引
- ◎文化情報誌及び公演チラシの郵送 ほか

お問い合わせ先 TEL.053-451-1115 vivace@actcity.jp

2018年4月から会員種別がひとつになります!

- ◆年会費は一律2,000円(税込)
- ◆電話予約の場合
 - ①アクトシティチケットセンターで受取とお支払い
 - ②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い (送料+代引手数料がかかります)
- ◆HCFオンラインショップ予約の場合
 - ①アクトシティチケットセンターにお越しいただき受取とお支払い
 - ②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い (送料+代引手数料がかかります)
 - ③ご自宅へ宅配 & クレジットカード決済(送料がかかります)
- ◆ご予約ごとに受取方法は選べます。
- ◆3月末までは、今までの会員種別、販売方法となります。

チケット販売場所 [アクトシティチケットセンター](#) [HCFオンラインショップ](#) <http://www.hcf.or.jp/> チケットぴあ
この情報は2018年2月14日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。

浜松科学館
HAMAMATSU SCIENCE MUSEUM

こんにちは!

浜松科学館です



しばらく さようなら浜松科学館特別企画

鉄腕アトム
ロボットと暮らす
未来展
2018 1.13 Sat - 3.31 Sat

入場無料 9:30~17:00
(最終入場16:30)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
開催場所: 1階 無料エリア

鉄腕アトムの世界を
通してロボットと暮らす
未来を紹介します



「鉄腕アトム」に
描かれた未来

パネルと複製原画
で紹介

▲鉄腕アトム ロボイドの巻 屏絵
1965年5月号[少年]掲載

「鉄腕アトム」
記念撮影コーナー

※画像はイメージです。
※イベント内容は、変更になる場合がございます。
※詳細はホームページをご確認ください。

体験コーナー

※土・日・祝・春休み(3/17~)のみ

「コミュニケーションロボットとの会話」

- 会話ロボットPALRO
- 人口知能ロボットATOM ※3/17~



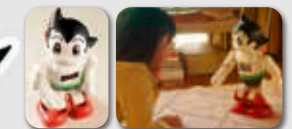
映像上映

※土・日・祝・春休み(3/17~)のみ

アニメ「鉄腕アトム」
(1963・1980年版) 第1話・最終話

図書コーナー

- 手塚治虫作品を紹介
- 講談社「週刊鉄腕アトムを作ろう!」展示



© TEZUKA PRO / KODANSHA

アトム定規が当たる
関連イベント

- クイズラリー
- アトム塗り絵

※抽選会のご参加は、お一人様1日1回とさせていただきます。

特別講演会
「アトムは本当に
生まれるのか」

3/31(土) 14:00
1階 科学館ホール

入場無料[要申込] 2/17(土)~
科学館ホームページ等にて受付

講演者: ヴィジュアルリスト 手塚眞



浜松科学館は改装のため、3月31日で休館いたします。リニューアルオープンは2019年7月の予定です。

展示内容の大幅更新に伴い、現在の展示物に触れる機会はこれが最後となります。
思い出作りにぜひご来館ください!!

舞台袖

春は出会いと別れの季節。アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」でも入会・退会のお客が増え、バタバタと手続きに追われます。会員様から温かいメッセージをいただくこともあり、スタッフ一同、あらためてお客様への感謝の気持ちをかみしめています。これからより多くの方に愛される魅力的な友の会を目指して前進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

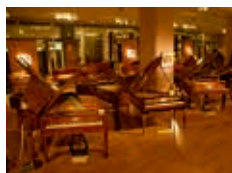
〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129



浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



浜松市旧浜松銀行協会 (木下恵介記念館)

〒432-8025
浜松市中区栄町3-1
TEL.053-457-3450
FAX.053-457-3450
(3月31日にて指定管理終了)



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184

(4月1日より改装のため休館)



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153



浜松子ども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300



天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300